

暮らしのSDGs 学習会

近年の気候変動には、地球温暖化の進展を強く感じざるを得ない状況があります。パリ協定では、世界の平均気温上昇を1.5℃以下にすることを目標としており、これを実現するために、2030年までに温室効果ガスを大幅に削減することが求められています。

このような状況に鑑み、Can-Japan (Climate Action Network Japan) で、『1.5℃へのアクション』と題して、Zoomを使って日本での取り組みの現状や課題などを紹介する連続セミナー(全4回)を開催しており、その内容をCan-Japanの資料等を用いて紹介します。

今回は、その第1回の内容を学習会担当の筒井から説明させていただきます。

<第202回 暮らしのSDGs学習会>

- 1, 日時=2024年9月13日(金) 13:30~15:00
- 2, 会場=流山市生涯学習センター(3F)会議室
<http://nagareyama-shougaigakushucenter.jp/access.html>
- 3, 内容=水素・アンモニア、CCSは脱炭素に貢献するか
1.5℃へのアクション連続セミナー(第1回) CAN-Japan
- 4, 説明=筒井 義憲(千葉県地球温暖化防止活動推進員、OBN会員)
- 5, 定員=18名(定員に達した場合は締切ります)。
今回もZOOM発信はありません。
- 6, 申込=筒井 義憲(Tel:090-3130-5541)
E-Mail tsutsu_1213_yoshi@yahoo.co.jp

主催	: 暮らしのSDGs学習会
実施	: 温暖化防止ながれやま(略称OBN)

<次回予定>

- 日時 : 2024年10月11日(金) 13:30~15:00
会場 : 流山市生涯学習センター
内容 : 実効性のあるカーボンプライシングとは
(CAN-Japanの1.5℃へのアクション連続セミナー(全4回)の第2回)
説明 : 筒井 義憲(セミナーでの資料等を使い内容の説明を行います)